

放課後等デイサービス事業所における自己評価

記入日:令和2年11月11日

事業所名 放課後等デイサービスゆうすい

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	5	・グループ分けを行っている	・1日利用の際は場所の確保が難しい。
	2	職員の配置数は適切である		6	・グループの人数によって他グループの職員にヘルプをもらっている。	・見守りが手薄になっている気がする。・基準は満たしているが、個別での対応や手厚い支援は難しい日もある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	5	・角にクッション等つけている。	・クッションをつけていても取れたり、子ども達も気になり触る。・子ども達の身長等に合ったイス、机のサイズではない。・死角が多い。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	2		・改善まで至っていない部分がある。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	3		・グループによっては1人で行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	2		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	5		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	2	・子ども達が興味のあるものを取り入れている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	3		・グループで行っているか不明、朝礼時に行うようにする。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	3	・1日利用(長期休み)の際は行っている。	・次の日の朝礼時に行うようにする。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	4	2		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	3		・サービス利用前の会議であるため、難しい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6			・送迎に行くにあたって、どうすればよいか共有し対応している(5分経っても来ない場合は連絡する等)

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	4		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	1		・児童発達支援事業所とは連携できているが、保育所や幼稚園等とはやりとりを行えていない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	5		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	3		・一部の利用児は交流しているが、全体では難しい状態 ・夏休み期間に実施済
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		6		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			・定期的に面談の機会を設ける。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		5		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	3		・相談は受けるが、助言はできていないときもある(職員の方が経験が浅い部分もある)
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6			・親子交流会等開催しているが、回数は不足していると思われる。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		・お便りを発行している。	
	35	個人情報に十分注意している	6			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4		・秋祭りが中止になり、行えていない。 ・感染症予防のため、今年度は難しい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	4		・職員も把握不十分である。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1	・子どもたちの理解を深めるため、紙芝居を取り入れた。	・定期的には行えているが、不安はあり、回数を増やしても良いように感じる。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	4		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			